

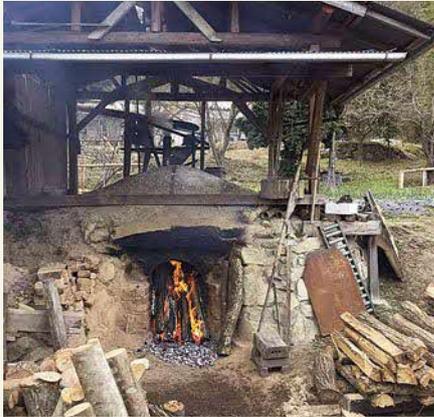
議会だより

Inagawa

2025
8.1
 No.196



特集
 (タブグラインダー)
木材破砕機が
バーク堆肥を作り出す
 ～みどり豊かな猪名川町を
 どのように保全していくべきか～



Topic 01

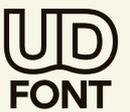
今回の特集は
木材破砕機がバーク堆肥を作り出す

Topic 02

6月定例会で決まったこと
議案の審議結果

Topic 03

ここが聞きたい
一般質問



見やすいユニバーサル
 デザインフォントを採用
 しています。

特集

（タブグラインダー）
木材破砕機が
パーク堆肥を作り出す
 ～みどり豊かな猪名川町を
 どのように保全していくべきか～



緑豊かな猪名川町



家庭菜園にもパーク堆肥を使用



薪ストーブ



地域振興部 大嶋部長

第426回定例会に提出された一般会計補正予算に、7年2月27日の火災事故により損失した木材破砕機を地方債を活用して購入することが示されました。そこで今号ではパーク堆肥や木材破砕機、町内の森林環境などについて、地域振興部の大嶋部長にお話をお聞きました。

Q 木材破砕機はどのような機械で、どういった目的で導入されているのでしょうか？

A 町内の街路樹や公園の樹木剪定により処分が必要となる枝葉について、処分を業者に委託したり、国崎クリーンセンターに持ち込んだ場合にかかるコストは多額となります。この「コスト削減」と「ごみの減量、再資源化」を目的に平成10年度から木材破砕機（タブグラインダー）を導入し枝葉を粉砕して発酵させ、パーク堆肥を製造し、農業や家庭菜園の土壌改良材として利用していただけるよう無料配布を行っています。この取り組みにより毎年およそ700トンほどの廃棄物が削減され約2000万円ほどのコスト削減につながっています。

Q 公園や街路樹の剪定処理の今後の見込みは？

A 街路樹も大木化・老木化が進行し、道路標識の視認性の妨げや倒木の危険性がみられるようになったことから、町街路樹管理計画に基づき、中高木を中心に伐採をしていく方針です。そのことに伴いタブグラインダーの処理量は減少することも見込んでいます。今後は里山整備の結果、発生した枝葉持ち込みや薪・ペレット製造の端材についても受け入れていくよう考えています。

Q 町域の多くを占める森林対策への活用は？

A 本町は町域の約8割を森林が占め、そのほとんどが広葉樹です。これら森林はこれまで薪炭や肥料としても活用され、日々、人の手が入ることで山中は明るく、生物多様性にも富む環境にありました。しかし戦後の高度経済成長期に入ると産業構造や生活様式が急激に変化し、森林の利活用は急激に減ってしまいました。今では高木化した樹木に覆われ倒木や枯死木が増加し、荒廃が進んでいます。里山再生には、山林所有者だけでは限界があることから、所有者に加え住民やNPO、ボランティア団体等、やる気のある人材を育成する必要があります。将来は、町が山林所有者と「やる気のある人材」を結び付ける仕組みと、木を伐採して出す仕組みづくりを構築することにより、里山保全に繋がるよう事業展開していくことを考えています。

Q 里山についての思いは？

A 私の小学生の頃は、山ではいたけ原木の伐採などが行われており、里山環境に囲まれて過ごし、夏にはカブトムシやワフワガタが台場クヌギに多くいました。

Q 里山への思いは？

A 里山の再生とは「自然のため」だけでなく、「人との関係性」を再構築することと考えています。町の取り組みにより、カブトムシなどが再びやってくる豊かな里山となり、それが町の魅力となるようにしたいです。

あなたと自然との関わりは？

猪名川町で生まれ育った私にとっては、この環境が当たり前になってしまっていて、自然のあることが自然なんです…なので、自然の無い世界では生きていけないです。

二十年前より里山再生活動を始めました。冬は山でチェーンソー、夏は田畑で草刈機、他にも自然公園で親子体験イベントを開催し、一年中自然の中にいます。



宮東議員



山下修議員

あなたと自然との関わりは？

菌ちゃん農法（落葉、木竹、ススキ、炭）を幅1m高さ60cmの畝に埋める。3年前から庭の畝でミニトマト、水瓜などを育てている。初めての水瓜は10個とも甘かった！！

私は丹波篠山市三熊（現在）と言う自然一杯の中で生まれ育ちました。今パークタウンと言う自然一杯の街に憧れて猪名川に移り住み満足満足。



福井澄議員



丸山議員

02 議案第 34 号 使用料・手数料等の適正化に係る関係条例の整備に関する条例 (総務建設常任委員会)
 議案第 35 号 使用料・手数料等の適正化に係る関係条例の整備に関する条例 (生活文教常任委員会) 原案可決

町が管理する施設 (スポーツ施設など) の 使用料・廃棄物処理の手数料などを改定

< 提案理由 >
 行政サービス利用者と非利用者の負担の公平性を確保する観点から、使用料・手数料等の適正化を図るため
 3月定例会では、留守家庭児童育成室の育成料の改定も条例に盛り込まれていたため、子育て世帯の負担増の観点から全会一致で原案を否決した。
 今回、留守家庭児童育成室の育成料を除く内容となり、原案を可決した。

▶ 主な質疑
Q 料金改正の実施時期は。また、周知はどのような予定で行うのか。

A 新しい料金体系は8年4月1日からの施行を予定している。遅くとも半年以上前の8月から9月頃には現状と異なる部分を強調したうえで周知していきたい。

03 議案第 36 号 猪名川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 原案可決

町で乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度) が 7年10月に試行実施へ

生後6ヶ月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもが保育所や認定こども園等に通園できる乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度) はこどもの育ちを支援し、良質な成育環境を整備することを目的とし、町では7年10月から試行的に本事業を実施、8年度の本格実施に備えることとしている。本事業の認可の申請があった場合に審査するため、基準を定める必要があることから今回条例を制定するもの。

▶ 主な質疑
Q 事業の対象となる施設はすでに決定しているのか。また、住所地以外の施設も利用できるのか。

A 本条例の制定後、事業者から認可申請を募り、審査ののち認可となる。制度構築のために事前協議をしており、町内認定こども園2園と公立保育園に参画してもらう予定である。また、町内に住所を有する方を対象とするサービスで、試行実施では市町村を越えた利用を認めていないため、町内の認定事業所しか利用することはできない。



保育室のイメージ

あなたと自然との関わりは？

うちの子どもたちは自然や虫が大好き。よく一緒に山に探検に行きますが、いつも昆虫や草木を持って帰りたがり、親 VS 子の攻防があります。

山を眺めるのが好きです。季節を感じられ、いつまでも飽きない景色。目に優しく、心が癒される自然の景色が目前にあるのはありがたいことです。



01 議案第 33 号 令和7年度猪名川町一般会計補正予算 (第1号) 原案可決

タブグラインダー購入費 3492 万 5 千円を含めた 1 億 232 万 1 千円を追加補正

7年2月の火災により廃車となったタブグラインダーを新たに買い替えるもの。

特集ページ参照 P2 ~ 3

▶ 主な質疑
Q タブグラインダーを新たに購入することだが、剪定枝のパーク堆肥化により国崎クリーンセンターへの搬入量は年間どの程度減るのか。

A パーク堆肥製造により、6年度は約800トン、5年度は約620トンのごみ搬入量が減少しており、国崎クリーンセンターの負担金では6年度は約2,000万円、5年度は約1,600万円が削減された。



タブグラインダー

その他の補正

- ・防災力向上のための資機材や車両等の購入
- ・キャッシュレス決済導入

あなたと自然との関わりは？

母の実家が三重県志摩市の漁師町で、初夏には、目に青葉 山ホトトギス 初鯉、と、目・耳・口で自然の恵みを楽しめます。

コロナを機会にベランダで育てるようになった野菜が、私と自然との関わりです。なかなか上手いきませんが、日々の観察が楽しく気分はプランター農園長!



Pick Up!! まちのアレコレ、どうなっている? おもな審議結果を解説

第426回定例会は、6月4日から6月18日までの15日間開会し、提出された計13議案について慎重に審議しました。
 今号ではその中から5つの議案を解説します。

下記の二次元コードから本会議の録画配信を公開中



6/4 本会議



6/18 本会議



議案審議の結果



原案可決



議案第 38 号 動産の購入について

キッチントレーラーの購入

契約の対象：キッチントレーラー（牽引車及び被牽引車）1 台、その他備品

契約金額：1980 万円

契約の相手方：日本旅行ビジネスソリューションズ株式会社

避難所における温かい食事の提供を行う体制を整備することを目的として移動販売車及びキッチントレーラーを購入する。道の駅いながわの指定管理事業者と協定を結び、日常の運用をしつつ、災害避難所における温かい食事を確保することとしている。



キッチントレーラーのイメージ

第 426 回定例会

議案の審議結果

付託（物事を決めること）先の略称

- 即決…本会議で審議
- 総務建設…総務建設常任委員会で審査
- 生活文教…生活文教常任委員会で審査



| 付託先 | 議案番号 | 件名 | 結果 |
|--------------|------|--|------|
| 即決 | 1 | 専決処分の承認を求めることについて | 原案承認 |
| 即決 | 2 | 専決処分の承認を求めることについて | 原案承認 |
| 即決 | 3 | 専決処分の承認を求めることについて | 原案承認 |
| 即決 | 32 | 教育委員会委員の選任について | 原案同意 |
| 総務建設 生活文教 | 33 | 令和7年度猪名川町一般会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 総務建設 | 34 | 使用料・手数料等の適正化に係る関係条例の整備に関する条例の制定について（総務建設常任委員会） | 原案可決 |
| 生活文教 | 35 | 使用料・手数料等の適正化に係る関係条例の整備に関する条例の制定について（生活文教常任委員会） | 原案可決 |
| 生活文教 | 36 | 猪名川町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について | 原案可決 |
| 生活文教 | 37 | 猪名川町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 即決 | 38 | 動産の購入について（キッチントレーラー） | 原案可決 |
| 即決 | 39 | 動産の購入について（ごみ収集車） | 原案可決 |
| 即決 | 40 | 動産の購入について（消防団車両2台） | 原案可決 |
| 即決 | 41 | 令和7年度猪名川町一般会計補正予算（第2号） | 原案可決 |

あなたと自然との関わりは？

自然の中で食べて寝て笑って。キャンプは私にとって最高のリフレッシュ方法です！

井戸議員



いながわ議会だより
No.196/2025.08

地域振興の取り組み

やまだ きょうこ
山田 京子 (いながわ未来)



交流人口増に向け二地域居住推進を 意義認めるが課題もあり慎重に検討



Q 人口減少時代のなか、町内人口の維持・増加は非常に難しいと考える。交流人口増に向け、観光でも移住でもない二地域居住を推進してはどうか。



A 関係人口の創出や将来の移住定住の促進の観点から、二地域居住推進が有意義だと認識しているが、教育や住居支援の対象設定など制度上の課題や、地域コミュニティの一体感、合意形成の難しさも考えられ、慎重な検討が必要。二地域居住の魅力について、さらに研究を進めたい。

DMO 設立に向け検討しては 組織のあり方を検討中

Q 観光振興基本計画で課題の1つに【持続可能な観光推進体制づくり】が挙げられている。町が事務局を担っている観光協会や行政ではできなかったことを解決し、観光客増につなげてはと考える。行政・観光協会・地域などのハブとなる体制を作り、訪れる観光客の立場や観点から、目的地になりうる町をめざしてはと考える。観光に関することを専門的に担うDMOの設立に向け検討や支援をしてはと考えるが見解は。

A 観光振興基本計画の戦略の中で、観光協会の機能強化を掲げている。観光協会の会員数は増加傾向にあり組織力も年々向上しており、多様な会員が関わり知恵を出し合い事業展開につなげている。そのような取り組みを進める中で、法人化を含め組織のあり方を検討している。町内には観光協会員以外でも活動している人がいるのでそういった住民の意見も聞く中で、DMOのどのような運営が効果的かどうかも含め、運営についても調査研究したい。

ひとくちメモ

DMOとは

観光地域づくり法人の略。地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔。(観光庁)

避難計画と自治会

たかおか みつこ
高岡 美津子 (清流会)



避難計画と自治会支援のあり方は 名簿を整備し共助体制を支援する



Q 避難行動要支援者名簿は、全国の自治体で使えない名簿となりつつある。施設に入所した人や、すでに亡くなった人が登録されたままであったり、住所だけで実情が把握できない人が含まれていたり、現場での活用に課題がある。個別避難計画についても、対象者が多く、十分に策定が進んでいない地域があるのが現状である。

一方で、自治会では加入率の低下や役員の担い手不足が進行し、支援や防災活動まで対応ができなくなってきている。支援を必要とする人を地域で見守るには、日常のつながりが欠かせない。名簿の整備やデジタルツールの導入といった制度面だけでなく、町として地域の支え合いをどう育て、共助の仕組みをどう築いていくのか。

A 町では、災害時に自力で避難することが困難な人を対象に、介護度などに基づいて避難行動要支援者を抽出し、支援を希望した人から同意を得て名簿に登録している。7年2月末時点で約1,600人が登録されており、地域の支援団体へは毎年6月頃に名簿を提供し、施設入所や死亡などの状況を反映して更新を行っている。個別避難計画の策定については、町が計画策定アドバイザーを派遣したり、研修会を開催したりと支援を行っているが、支援対象者が多い地域では、策定作業の負担が大きく、対応が難しいという声もある。また、自治会の加入率はこの5年間で約12ポイント低下し、現在は63.84%となっている。担い手不足や役員の負担軽減に対応するため、町では電子回覧板の導入を進めており、情報共有の効率化と自治会活動の支援を図っている。

さらに、ICTの活用として、簡易チェックリストや面談支援ツールの導入についても検討しており、個人情報の取り扱いや操作面の課題を整理しながら、民生委員や支援団体と連携し、制度の実効性向上に努めていく。



7年6月15日 避難行動要支援者のための「個別避難計画作成に向けた研修会」

あなたと自然との関わりは？

子どもの頃、家族で大野山でキャンプをし、寝転びながら夜空を見ていたら、何とか流星群が見れる日だった訳でもないのに、多くの流れ星を観測出来ました。



人口増施策と英語教育

いわき けい
岩木 慶 (いながわ未来)



部活動の地域移行は

よしお ゆたか
吉尾 豊 (清流会)



今後の不登校対策は

よこやま たつや
横山 辰哉 (日本維新の会)



プレコンを推進

さかもと ひろこ
阪本 ひろ子 (公明党)



目標人口達成のための施策は

さまざまな施策を複合的に展開する

11年に目標人口 28,000 人を達成するためには、自然減を補う以上の社会増を成し遂げる必要があるが、その具体的な施策は。

空き家活用特区やチャレンジ農業者就農支援、7年度から新たに取組む子育て世帯向け住宅取得補助など既存の子育て支援施策を複合的に展開し、本町への移住定住を促進する。今後も本町への転入ニーズに沿った施策を着実に進めることで、目標人口の達成とバランスのとれた人口構成を目指し、持続可能なまちづくりを推進していきたい。

現在の英語教育から PR しては

PR に有効な施策だと考えている

小学校低学年や未就学児のときから、ネイティブの英語に触れる環境が整えられているとなれば、子育て世帯から移住先として魅力的で、選ばれる可能性が上がると考えており、子育て世帯転入促進のための施策として、子どもに対する英語教育の強化というものを提案する。町はすでに小学校 1・2 年生や、幼稚園に ALT を導入するなど、決して全ての市町村が行っているというわけではない人員配置をしている。子育て世帯転入策の 1 つとして、すでに取り組んでいることから PR してはと考えるが、見解は。



幼稚園での外国語活動

小学校 1・2 年生には月 1 回程度、ALT との英語に親しむ時間を設定しており、幼稚園では月 1 回から 2 回程度 ALT 派遣を行っている。阪神地区の他市の中でも小学校 1・2 年生や幼稚園へ ALT を毎月派遣している市はなく、本町の英語教育は、他市町にも見られない、大変手厚い取り組みであり、こうした英語教育は魅力の 1 つとして、子育て世帯に PR できる有効な施策だと考えている。

地域クラブ活動の意義は

部活動は、社会性や協調性・達成感の他、責任感や粘り強さ・正義感などの非認知能力を養うと言われている。また、教室に入るのが難しい生徒でも、部活動なら参加できるといった「居場所」としての機能もあると思う。その移行先の地域クラブ活動はどのような役割があると考えているか。

これまでの部活動と同様、異年齢との交流の中で、生徒同士や大人との人間関係の構築を図り、自己肯定感・責任感・連帯感を育むなど、生徒の多様な学びの場となると考えている。また、部活動を地域展開することで、地域が一体となって子どもに関わりを持ち、育成に関わることで、世代間交流・地域の絆の強化につながると考えている。また、これまで部活動が果たしてきた生活指導面や人格形成の役割を継承していくことも大切だと考えている。



部活動の様子

地域クラブ活動の具体的な支援は

地域クラブ活動に移行するにあたり、ほぼ全ての地域クラブ活動で会費が発生する。それだけでなく、移動に自転車の購入やバス代など、あらゆる面で保護者の金銭的負担が増えている。それに対して所得に応じた補助や自転車購入補助、移動費用補助などの考えは。体験格差を起こさないためにも対応策は必要だが。

7年 6 月より、試行的に地域クラブ活動に参加する生徒が希望すれば、自転車通学を許可する。また北部のスクールバスは、引き続き、部活動終了時刻便や休日便を確保し、紫合バス停とスポーツセンター前での乗降を新たに設定する。移動や会費の金銭面の直接の補助予定はない。なお、困窮家庭に対する支援制度については現在検討中。今後、協賛金やクラウドファンディングを活用するなど保護者の金銭的負担が過度なものにならないよう検討していきたい。

不登校支援の取り組みは

町の不登校児童生徒数の推移と、全国との比較は。



小中学校における不登校児童生徒数の推移は、3 年度に 80 人、4 年度に 95 人、5 年度は 128 人。全国平均を上回っている状況となっている。

ひょうご不登校対策プロジェクトに対する町の取り組みは。フリースクール等民間施設へ通う児童生徒への補助金の活用は。

各小中学校に校内サポートルームを設置し、小学校 3 校、中学校 2 校に不登校支援員の配置を拡充している。また、町独自の取り組みとして、中学生を対象に e ラーニング教材を活用した学習支援を行っている。フリースクール等民間施設に通う児童生徒は年々増えており、社会的自立に向けた適切な居場所として期待は大きい。補助金の交付は現段階において実施はしていないが、多様な教育機会の確保につなげるための支援の必要性は認識をしている。

行政が介入できる条例の制定は

大きないじめ事案が起こると学校現場だけでは対応が難しく混乱もあると感じる。他市の事例がそのまま当てはめられるわけではないが、学校現場でのいじめ問題に行政がより介入できる町独自の条例制定は。

他市の先進事例を参考にいじめ防止活動に対する支援体制の強化や、外部関係団体との連携を意識した取り組みなど、6 年度のいじめ重大事態を教訓として、今後いじめ防止基本方針の見直しの中で検討する。

プレコンセプションケアの教育を

必要性は非常に高いと考え推進する

心身共に健康な子どもたちを育むためにも、自身の健康管理への意識を育てるべきと考えられる。学校教育におけるプレコンセプションケアの取り組みの必要性は。



輝く未来ははじめの一歩 (県 HP より)

学校教育でのプレコンセプションケアの推進は、児童生徒の健康と未来に大きく寄与し、必要性は非常に高いと考える。性教育や、食育の授業に地域や保護者の参画を促し、学校・家庭・地域が連携して、子どもたちが自分の健康について考える機会をつくっていく。今後も健康教育や、食育指導の機会を通じて継続的に推進する。

5 歳児健診への取り組みの考えは

実施に向けて必要な事務を進める

5 歳児健診の意義は、知的な障がいや伴わない発達特性を持つ子を早期発見するためにも重要。こども家庭庁では、10 年度までの実施 100% を目指しているが、5 歳児健診への取り組みの考えは。

現行の「5 歳児発達相談事業」の見直しや医師会との調整など、事業実施に向けて必要な事務を進めていく。

事業対象者認定制度を取り入れては

事業対象者の導入は考えていない

総合事業の基本チェックリストにより事業対象者に認定されると、介護予防、生活支援サービス事業として、デイサービスを利用できる。本町でも事業対象者認定制度を取り入れてはどうか。また、総合事業に民間企業などを導入する考えは。

| 事業の種類 | 対象者 |
|-----------------|---------------------------------------|
| 介護予防・生活支援サービス事業 | ・要支援 1・2 ・「基本チェックリスト」で事業対象者と判断された方 |
| 一般介護予防事業 | ・65 歳以上のすべての高齢者 |

「総合事業」の種類と対象者

基本チェックリストを導入している保険者は、介護認定申請件数も多く認定事務の簡略化のために用いている。本町では、介護認定事務に支障がないため、事業対象者認定制度の導入は考えていない。民間企業や団体との連携は、第 9 期介護保険事業計画にはないが、第 10 期の見直しの中に落とし込みたい。



阪本議員

あなたと自然との関わりは？
庭のふきのとうが顔を出し鶯が春を告げる。柿の木があっという間に新緑で満ち溢れ、蝉時雨の夏。柿が色づく頃は実りの秋。木枯らしと共に落葉すると、もう冬。

小さい頃身体が弱かった次女は、自然豊かな猪名川町に引っ越して来てからは猪名川の自然の中で元気いっぱい。幼稚園から高校までほぼ皆勤で過ごせました。



加藤議員

阪急バスの利用促進は

ふくい かずお
福井 和夫 (清流会)



グランドパス助成額引上げは 町財政への影響を考慮



Q グランドパス（高齢者向け定期券）への助成事業がスタートした際は、年間販売額が4万円。その後53,600円に値上がりしたが、助成額は2万円に据え置かれ、今の負担額は33,600円へと多く負担を強いられているので、助成額も当初の半額助成という主旨から引き上げるべきでは。



A 高齢者数の増加に伴い、利用件数は増加傾向で推移すると見込まれるため、町財政への影響を考慮しながら、引き上げの部分については総合的に判断していく。

大野山観光へ阪急バス利用の PR は

SNS などの媒体を活用

Q 阪急バスの柏原区間が復活し日生中央駅から大野山の麓までバスが利用できるメリットを、運行ダイヤを掲載してバス利用者を増やすべきでは。



柏原バス停

A 大野山を紹介するホームページや SNS などの媒体に、時刻表を掲載し路線バスの運行を周知することで、利用者の増加に取り組む。

新道の駅の凍結などの説明責任は

速やかにホームページで公表

Q 南田原に購入した広大な土地について、活用が進んでいない原因、凍結せざるを得ない理由、多くの規制で用途も制限されている理由、事業用地評価額が訴訟の原告の主張である約5,200万円に対して被告側である町の約5億5,000万円の根拠、それらの現状を周知する説明責任があると思うが。

A 凍結理由・土地の用途・土地評価額について、町の見解・正当性の発信と訴訟への影響のバランスを図りながら、速やかにホームページにて公表していく。

人とペットの防災

なかい ともこ
中井 智子 (公明党)



人とペットの防災マニュアル作成を 作成予定はないが、周知・啓発行う



Q ホームページ上のペット防災の内容がやや古い。環境省の最新のガイドラインや、他自治体における取り組み事例を参考に、町独自の「人とペットの防災マニュアル」を作成し、周知・啓発してはどうか。



平時からペットの避難用具や備蓄用品の備えを

A 現時点で町独自のマニュアル作成予定はないが、指摘を受けホームページの情報を環境省の最新ガイドラインに沿って早急に更新し、広報誌なども活用しペット防災に関する周知・啓発を行い意識の醸成を図る。

デジタルスキル支援を行う考えは 有効な方策を模索し検討する

Q デジタル推進委員と連携し、スマートフォンの基本操作やマイナポータル、行政手続きへの活用、詐欺対策など、実生活に即したデジタルスキル支援を進める考えは。

A 高齢者などへのデジタル活用支援を重要な課題と捉え、パソコン講座やスマホ教室を実施し、操作習得や理解促進に努めており、マイナポイントや県のはばたんPayなどキャッシュレス決済の普及にも寄与している。現在はいなぼう Pay 事業などの支援も実施。講習会形式に限らず、多様な支援策を模索・検討していく。

二地域居住への官民連携の考えは

民間事業者や NPO との連携を検討

Q 都市と地方の双方に拠点を持つ二地域居住が目される中、関係人口の拡大や人の流れの創出が期待されている。二地域居住を支援する事業者や NPO などと官民連携して取り組む考えは。



都市と地方を行き来
二地域居住

A 地域活性化や関係人口の創出、将来的な移住・定住にもつながる可能性のある取り組みだが、実施には課題もあり慎重に進める必要がある。今後は、特定居住支援法人の活用も視野に入れ、現場で活動できる民間事業者や NPO との連携についても検討する。

あなたと自然との関わりは？

普段気にも留めない景色が、光や風など自然の作用で幻想的に変わる瞬間に気づき、写真におさめるのが大好きです。

中井議員



いながわ追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査した。第44回のミッションは、次の質問のその後だ!!

中間支援の拠点設置は

質問

令和6年6月定例会



第六次総合計画によると、新たな価値や魅力の創出、地域の課題解決に向けた取り組みを展開するため、中間支援の役割を整理、組織の育成や整備を進めるとあり、中間支援のための相談窓口、拠点の整備を6年度に1か所の設置を目指すようだが考えは。

答弁

拠点の設置は、6年度を目標に進めていたが1年延長することとなった。県内の中間支援拠点施設も参考にしながら、7年度の設置に向けて、誰もが気軽に立ち寄り、様々な地域活動に関する相談ができる拠点の整備を目指す。

現在

行政と地域の協働のみならず、個人をはじめ、団体・組織・事業者などの多様な主体を中間的な立場でつなぐとともに、相談対応や人材育成、情報の収集及び発信等といった中間支援を行う相談窓口として、町役場分庁舎2階に町地域活動交流広場（愛称:otonari-オトナリ-）を6月2日に開設した。施設運営については町の委託団体であるcon-note（カノート）が運営している。

施設内はフリースペースや人工芝を敷いて住民がつどい対話できる空間となるように工夫しており、気軽に立ち寄ってもらいたい。



デコ活宣言をしたらどうか

質問

令和6年6月定例会



環境省では、デコ活という言葉を使い、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動を展開している。住民が無理や我慢をして脱炭素を進めるのではなく、暮らしの豊かさを感じながら取り組めるように、町もデコ活宣言をし、多くの住民が意識的に脱炭素に取り組めるよう後押しをしてはどうか。

答弁

脱炭素につながる取り組みは、自治体のみならず、企業や町民一人ひとりの前向きな意識とささいな日常生活での取り組みが重要なことから、宣言は大変有意義なものであり、今後はデコ活宣言も視野に入れ、町が率先して省資源、省エネルギーといった取り組みを実践するとともに、町民及び町内事業所に脱炭素に向けた啓発活動を進める。

現在

環境月間に合わせ、7年6月2日にデコ活宣言を実施した。未来の世代に美しい環境を残すため、地域全体でゼロカーボンのまちづくりを進めていきたい。町では住民のデコ活を応援するために様々な支援策を実施しており、7年度は『省エネ家電製品購入補助事業』によって、住民の省エネ家電の購入をサポートしている。また、太陽光発電の共同購入支援事業や雨水貯留施設の購入補助事業、住民への脱炭素に関する講演会などを行い、住民の脱炭素につながる生活スタイルへの転換を後押ししている。



デコ活ロゴマーク
(環境省)

あなたと自然との関わりは？

朝、小鳥のさえずりを聞きながら目覚める時、梅雨時に雨に洗われた木々の新緑が映える時、真っ青なきれいな空が眺められた時に、自然の偉大な力に癒されます。



森林組合の仕事

猪名川町森林組合代表理事 組合長 仲井常雄



猪名川町内総面積の七十九%約七千畝が森林、緑豊かな住みよいまち 地域住民が潤うまちへと、森林組合では山の保全育成にむけた伐採整備作業と、植林及び山以外の大木・庭木の不要木・危険木等、伐採整備も請け負っています。

機械操作安全講習会の開催や林業用資材の供給・機械器具消耗品及び苗木販売・椎茸原木・薪・ペレット用原木の買取り販売と、薪・ペレットの製造販売も行っています。

ぜひ、町内産原木をフリーセンター（槻並）の薪製造場所へ持込下さい。

猪名川町では里山再生の環境として森林整備を勧めており苗木・椎茸原木・危険木伐採・ストープ設置費・林道新設等に町独自の補助事業を受付中!!



活動の風景

詳しくは町役場農業環境課が森林組合までご一報ください。

何でも気軽にご相談をお待ち申し上げます。

今後山所有者の所得向上・地域活性化にむけた事業に取り組んで行く所存です。

組合員を始め地域住民の皆様のお役に立てるよう森林組合もより一層頑張つて参ります。

9月定例会

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-----|----|----------------------------------|-----------------|-----------------|----|
| 8/31 | 9/1 | 2 | 3 議会運営委員会 議会広報特別委員会 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 定例会 本会議第1日 議会広報特別委員会 | 11 総務建設常任委員会 | 12 生活文教常任委員会 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 本会議第2日 | 18 本会議第3日 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 本会議第4日 議会運営委員会 | 25 | 26 | 27 |

※議事の都合により変更となる場合があります

傍聴方法

傍聴の受付 本庁舎3階 議会事務局

- ①傍聴者名簿に住所・名前を記入
- ②傍聴券を受け取り入場

※入退場自由/定員 本会議 20人、委員会 10人

会議録の閲覧

本会議・委員会の会議録は、議会事務局・図書館・日生連絡所・六瀬総合センターで閲覧できます。

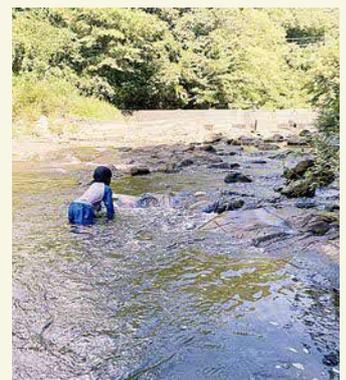
また、ホームページからも本会議、各常任委員会の会議録をご覧になれます。



まちかどワンショット



大きく育て！（槻並地内）



冷たくて気持ちいい（木津地内）

議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

この広報紙は 12,000 部作成し、一部あたりの単価は 32.12 円です。